

校友会埼玉県支部大会は、毎年11月第2土曜日に、県内を東西南北の4地区が持ち回りで主管して開催してきました。2020年度は東部地区、草加八潮稲門会主管で大隈講堂・ホテルリーガロイヤル東京を会場に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止になりました。



2021年度もコロナの影響で開催が危ぶまれましたが、11月7日(日)に我々西部地区5市(和光・朝霞・新座・志木・富士見三芳)稲門会の主管で、「早稲田大学 国際会議場 井深大記念ホール」を会場として、コロナの影響により懇親会なしで開催されました。なお、日程は田中愛治総長のご都合により調整され11月7日になっています。大会はリモートによる5市幹事長会での連絡調整、5市会長懇談会、会場下見などを経て準備し、当日も5市稲門会が連携して滞りなく開催できました。稲門祭模擬店等の日ごろの連携の成果と思います。

大会は当日、加瀬和光稲門会幹事長兼埼玉県支部事務局次長の司会により、5市稲門会の紹介(5市稲門会会長の登壇、代表して西森朝霞稲門会会長の挨拶)、万代校友会代表幹事ほかの来賓挨拶、田中愛治早稲田大学総長の挨拶・講演と続き、次期大会主管の南部地区、川口稲門会の広瀬会長の挨拶があり、校歌斉唱(YouTube画像による)をもって終了しました。11年前5市稲門会が発足する際に、埼玉県支部事務局長としてご助力いただいた広瀬川口稲門会会長が次回主管されるというのも何かのご縁なのかもしれません。

新座稲門会からは伊藤会長、吉開、小見野の両副会長のほか、細川幹事、齋藤が参加しました。伊藤さん、細川さんには会場設営等ありがとうございました。



支部大会は本来、様々な余興を伴う懇親会の方がメインみたいなどころがありますが、今回はコロナの影響によりそれができませんでした。その分準備の手間はかかりませんが、来年からはコロナが一定に治まり、従来通りの大会が開催されることを期待します。

(新座稲門会幹事長 齋藤 泰秀)